

平成29年度各会計予算案の大綱

次に、平成29年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

平成29年度は、「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「滝川市財政健全化計画」の3年目の予算となります。将来にわたって健全な財政運営の実現を目指すとともに、地方創生の取り組みを着実に推進していくため、緊急度・重要度を鑑み、事業の取捨選択を行い、効率的かつ効果的に編成したものです。

現年収納率97.9%を目標とした市税の確保のほか、事務事業の見直し、組織・人件費の見直し、歳入の確保対策など財政健全化計画に掲げる内容を的確に反映し、市政執行方針で申し上げた7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	198億	8,500万円
特別会計	109億	4,438万円
下水道事業会計支出	28億	126万円
病院事業会計支出	76億	3,261万円

となり、各会計の歳出総額は412億6,325万円で、平成28年度予算と比較して、1.7%の減、金額では7億3,142万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、前年度に対して9億9,500万円減となる予算としましたが、地域経済の活性化を図るため、栄町3-3地区優良建築物等整備事業の補助や市営球場改修事業などの実施、人口減少対策として、新たに新築住宅助成事業補助金を盛り込むことにより、

予算額 198億8,500万円で、前年度比4.8%減となっています。

性質別にみますと、

人件費については、組織・人件費の見直しなどにより、

予算額 35億23万円で、前年度比2.2%の減

物件費は、社会保障・税番号制度システム整備委託料の減などにより、

予算額 20億9,045万円で、前年度比0.7%の減

扶助費は、障害者自立支援給付費の増などにより、

予算額 37億1,180万円で、前年度比2.4%の増

建設事業費は、スポーツセンター第1体育館改修事業の減などにより、

予算額 8億43万円で、前年度比48.2%の減

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 19億7,500万円で、前年度比7.4%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、

予算額 55億1,504万円で、前年度比3.4%減

公営住宅事業特別会計におきましては、住宅管理費の減などにより、

予算額 7億5,904万円で、前年度比0.4%減

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定は、保険給付費の増が見込まれるなどにより、

予算額 39億5,200万円で、前年度比7.9%増

介護サービス事業勘定は、一般会計繰出金の増などにより、

予算額 8,800万円で、前年度比12.5%増

介護保険特別会計総体では、

予算額 40億4,000万円で、前年度比8.0%増

後期高齢者医療特別会計におきましては、保険料負担金の増などにより、

予算額 5億8,498万円で、前年度比6.0%増

土地区画整理事業特別会計におきましては、西二号通の工事費の減などにより、

予算額 4,533万円、前年度比47.9%減

下水道事業会計におきましては、公共下水道新設工事費の増などにより、

支出額 28億126万円で、前年度比2.7%増

病院事業会計におきましては、企業債償還金の増などにより、

支出額 76億3,261万円で、前年度比1.3%増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

栄町3-3地区優良建築物等整備事業補助金 2億 6,000万円

道路新設改良事業費 3億 1,753万円

などを含め、総額で 8億 43万円

公営住宅事業特別会計では、 3億 7,680万円

土地区画整理事業特別会計では、 3,100万円

下水道事業会計では、 4億 3,589万円

病院事業会計では、 1億 2,810万円

全体で前年度比26.3%減の 17億 7,222万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについては、

農業分野への企業参入支援や新たな商品開発・販路拡大を行うため、

農商工連携推進事業費 110万円 を計上しました。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 2,550万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 53万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,418万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の確保については、

「観光振興事業」や「リンゴを核とした6次産業化」など各事業の推進を図るため、

「地域おこし協力隊員」計9名分 3,449万円

任期満了を迎える地域おこし協力隊員の起業を支援し、地元定着を促進するため、

地域おこし協力隊員起業経費補助金 100万円

産業振興・雇用創出・地域経済活性化の取り組みを支援するため、

滝川市産業活性化協議会負担金 320万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

地域自ら取り組む地域振興事業の推進については、

江部乙地域の魅力をより一層向上させる活動を支援するため、

「日本で最も美しい村」江部乙協議会交付金 150万円 を計上しました。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,000万円 を計上しました。

広域観光の推進については、

マーケティングや地域自らが創るツアーの構築などを行う、日本版観光DMOの形成を支援するため、

広域観光推進事業費 50万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

公園・緑地の適正な配置や保全に向けて、緑の基本計画の見直しに着手するため、

緑の基本計画策定費 600万円

都市環状軸の形成に向けた都市計画街路3・4・15号西二号通の整備を実施するため、

泉町土地区画整理事業費 3,100万円

町内会などが管理している街路灯のLED灯への切り替えを促進するため、

街路灯設置補助金 1,328万円

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 17億7,222万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については、

中心市街地の再生に向けて、栄町3-3地区における民間主導の再開発事業を支援するため、

栄町3-3地区優良建築物等整備事業補助金 2億6,000万円

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗の流動化を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

移住・定住と高品質な住宅建築などを促進するため、

新築住宅助成事業補助金 1,980万円

安全・安心な住宅ストックの形成に向け、耐震化工事を促進するため、

住宅耐震改修支援事業費 1,108万円

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業補助金 935万円

市内における住宅や建築物の耐震性の向上を計画的に進めるため、

第二期耐震促進計画策定費 287万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

バリアフリー化の推進については、

滝川駅前広場の再整備に関連する鈴蘭通道路線形改良工事の最終年度として、用地確定測量を行うため、

駅前広場整備事業費 101万円

道路特定事業計画に基づき、市道のバリアフリー化を推進するため、

歩道バリアフリー化事業費 3,900万円 を計上しました。

市内公共交通の充実については、

JR北海道の路線見直しに伴い、根室本線対策協議会において維持存続に向けた検討を行うため、

根室本線対策協議会負担金 15万円 を計上しました。

地域福祉・自立支援の充実については、

特別養護老人ホーム緑寿園の建て替えに伴う利用者負担増の軽減を図るため、

特別養護老人ホーム緑寿園利用者負担軽減事業費補助金 1,435万円

高齢者の社会参加活動や予防活動を通じた介護予防を推進するため、

介護支援ボランティアポイント事業費 343万円

生活支援サービスや地域における支え合いの体制づくりの充実・強化を図るため、

生活支援体制整備事業費 314万円 を計上しました。

安心して暮らせる保健・医療環境の充実については、

不妊・不育症の治療費用の助成により少子化対策の推進を図るため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心・安全な出産をサポートするため、

妊婦健康診査支援事業費 2,303万円 を計上しました。

災害に強いまちづくりについては、

滝川地区広域消防事務組合消防本部・滝川消防署庁舎を移転建設するため、

消防本部・滝川消防署庁舎建設工事負担金 491万円

老朽化し耐震基準を満たさない現在の詰所を建て替えるため、

滝川消防団第五分団詰所建設工事実施設計負担金 9万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

より安心で快適な学校環境を整備するため、

滝川第一小学校特別支援教室対応等事業費 565万円

小・中学校教室環境改善事業費 221万円

江陵中学校二線校舎屋根改修事業費 148万円

江部乙中学校武道場屋根改修事業費 234万円

明苑中学校火災報知受信機取替等事業費 492万円

英語での表現力やコミュニケーション能力を向上させるため、

外国語教育の充実事業費 22万円

就学機会の拡大と併せて地域人材の定着などを目指すため、

國學院大學北海道短期大学部修学奨励金 747万円

國學院大學北海道短期大学部連携事業補助金 150万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

老朽化が進んでいる市営球場の環境改善を図るため、

滝川市営球場改修事業費 5,000万円

市民の健康増進、世代間交流、地域コミュニティの醸成などを推進するため、

石狩川河川敷パークゴルフ場運営管理事業費 4,017万円

東京オリンピック・パラリンピック出場選手の合宿誘致に向け、

東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業 76万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 218万円 を計上しました。

市民活動の推進については、

若者をはじめとした新たな担い手がまちづくりに参加しやすくするため、

市民が活躍するまちづくり活性化事業補助金 100万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

事務などの効率化については、

公営住宅管理のさらなる効率化とサービス向上を図るため、

公営住宅の指定管理化 1億1,972万円 を計上しました。

広域連携については、

都市部から地方への移住を促進し、地元定着に向けた就業支援を図るため、

中空知定住自立圏就業・移住支援事業負担金 70万円 を計上しました。

公共施設の一元管理については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、持続可能な公共施設運営を図るため、

公共施設修繕事業費 2,477万円 を計上しました。

情報セキュリティ強化対策については、

標的型サイバー攻撃による個人情報の漏えいなどを防ぐため、

北海道自治体情報セキュリティクラウド運用費 227万円

情報セキュリティ強化対策費 499万円 を計上しました。

一般廃棄物最終処分場嵩上げ整備については、

一般廃棄物最終処分場の延命化を図るため、

一般廃棄物最終処分場施設整備等調査費 1,017万円 を計上しました。

滝の川斎苑の改築工事については、

施設の老朽化による改築に向け基本設計を実施するため、

滝の川斎苑改築調査費負担金 603万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

個別事業の見直しや経費節減などによる経営改善を促進し、第三セクターの経営を支援するため、

滝川振興公社貸付金 6億2,500万円

滝川グリーンズ貸付金 3,500万円 を計上しました。

次に、これらに見合う平成29年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税については、個人市民税の給与所得の伸びなどを考慮したほか、法人市民税については、平成28年度決算見込みを踏まえて前年比増額で見込みました。

また、収納率については、現年分97.9%、滞納繰越分11.6%、合わせて88.9%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年8,496万円増の 42億7,167万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年1億3,063万円減の 70億2,140万円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 29億4,383万円

道支出金 10億9,106万円

市債 8億2,898万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年2,443万円減の3億5,986万円を計上しております。

以上、平成29年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。